

令和 3 年度第 1 回宇治市行政改革審議会（7 月 27 日）の意見要旨

意見要旨

第 8 次行政改革に取り組むにあたっての基本方針について

第 8 次行政改革大綱における基本施策の検討要素について

◆新しい生活様式への対応として、デジタル化を進めて行く形もあるが、高齢者の割合が高くなっていくという状況もある中で、新たな技術等の活用を進める上で、あらゆる方への配慮についての方向性についても入れ込んでもらいたい。

◆新型コロナウイルス感染症対策、それに付随するサービスの検討は非常に重要だと思うが、今後の見通しが不透明な中でその部分に偏りすぎると 3 年後、4 年後の状況にそぐわなくなる懸念があり、そのあたり広い視野を持って進めていく必要がある。

◆厳しい財政状況について、市民はあまり知らない。まずは職員の十分な認識が重要であり、その上で市民に関心をもってもらうことが重要となるため、効果的な手法で知らせる必要がある。

◆取組項目についてある程度絞った方が良い。この間の成果を確認する中で、進捗が芳しくない項目を重点項目としてピックアップし、ゴールを定めて重点的に取組を進めていくという考えもある。

◆取組項目が多い。計画期間中の年度ごとに重点を置く項目を決めるなど、メリハリをつけた取組の推進が必要である。

◆若手の人材育成、新たな発案を促す取組の実施が重要である。

◆市の職員がどのような動きをしているか全く見えない。多くの NPO 等団体がある中で、交流して問題を共有し、実際に課題解決に向けて取り組むことが重要である。財政も厳しい中で、市民も巻き込んで、歩み寄って同じ方向を向けたら、良い方向に進むと思う。

◆民間で導入している事例も参考に業務改革を進めることも必要である。民間企業と連携し、意見交換をしてはどうか。

◆行政改革を徹底すればするほどリスクに弱くなる。今後、デジタル化の推進がトレンドにはなるが、一方で少子高齢化という問題があり、市民がデジタル化にどこまで対応できるか、逆に行政サービスの低下にならないようバランスが重要である。

質問

◆市職員数について

→ 正職員／1,414 人 会計年度任用職員／994 人 （令和 3 年 4 月 1 日現在）

◆ごみ収集車の体制見直しの状況

→ 令和 2 年度末に市公共施設を除く、直営による事業系ごみ収集の廃止を行うなど調整を行い、ごみ収集車の 1 台減車を行った。